

2023-24 年度 R I 会長 ゴードン R マッキナリー (スコットランド・サウス・クイーンズフェリー・RC) 第 2820 地区ガバナー 大久保博之 (水戸 RC)

国際ロータリー 第 2820 地区 (茨城) 第 1 分区 日立港ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう



2023. 9. 14  
第 2067 回例会

会長 鈴木崇久 会長 島田洋次 幹事 照沼明美

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



9月は基本的教育と  
識字率向上月間です

会長挨拶 鈴木崇久 会長



皆様こんにちは。そして、米山記念奨学生の銭様こんにちは。会長の鈴木崇久です。まず、先週の金曜日の台風 13 号による大雨により亡くなられた方々に黙とうをささげたいと思います。また、被災された方々の一日も早い復興を願うところです。

話は変わりますが、先週土曜日の「よかっぺ祭り」の第 1 分区の活動に参加された会員の皆様ありがとうございました。天候も回復して無事に活動を行うことが出来ました。人出も新型コロナ以前と同等かそれ以上で、用意していた配布用のポケットティッシュがあつと言う間に在庫が無くなってしまいました。

そして、同じ土曜日の午後 2 時からに長期交換派遣生のウィラ様のオリエンテーションが当会場の美かので行われました。ウィラ様の体調も順調に回復し、ホームステイ先とホームステイ予定の家族と一緒に会話を楽しんでいました。

昨日はアフリカ北西部のモロッコで大きな地震があり、甚大な被害が発生しているとのニュースが届きました。12 年前の東日本大震災の記憶がよみがえってきます。遠い国の出来事と思うのではなく、もし当クラブの留学生の故郷であったならば、「あの留学生の故郷が大変なことになっている、助けてあげなければ！」と思うはずで。他人や他国の事を、自分や自国の事のように思うきっかけとして留学生を受け入れることの意義があるのではないのでしょうか。

最後に、今回の台風による大雨被害からの復興を祈り、会長の挨拶とします。

例会報告

開会点鐘 鈴木崇久 会長  
R ソング 「我等の生業」

本日のビジター紹介 宮田秀昇 親睦活動委員長

米山奨学生 銭 暁艶さん  
ようこそいらっしゃいました。

出席報告 五朶美奈 SAA

会員数	出席数	出席率
34	20	62.5%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
3(本日 1 名出席)	12	100.0%

本日の食事メニュー：しょうが焼き

にこにこ BOX 報告 五朶美奈 SAA

【ご芳志を頂いた方からのコメント】

- 桑名智行さん…61 回目の誕生日、これからも休日ウォーキングを継続し、健康第一で頑張ります。

目標 1,266,000 円  
本日のご芳志 2,000 円  
トータル 487,583 円

幹事報告 照沼明美 幹事

【受信書簡・メール】

- ・ 2023-24 年度 RLI・PART II 研修会のご案内 10/15
- ・ 第 52 回ロータリー研究会ご案内および登録について
- ・ 第 26 回インターアクト年次大会大会報告
- ・ ハイライトよねやま 282 号

**米山奨学金の交付**

鈴木会長から 9 月分米山奨学金を交付しました。

**銭さん挨拶**

皆さん、こんにちは。早いもので 4 月に米山奨学生になってもうすぐ半年になります。色々な活動に参加させていただいて楽しかったです。

先週の土曜日、友人と新しくオープンした水戸市民会館で行われた中島美嘉さんのライブに行きました。十数年前から美嘉さんの曲を聞いています。

美嘉さんは耳の病気から完治したようです。一人で 2 時間歌い続け、歌から力を沢山もらいました。今日は「雪の華」を歌わせていただきます。

**委員会報告****【会報雑誌委員会****山口憲生委員長】**

本日配布しました会報の「サロン美かの」の執筆者は(ま)とありますが、これは松橋さんです。

会報・雑誌委員以外で、コラムを投稿したい方は編集委員にお申し出ください。

**【古川英希ゴルフ幹事】**

9 月 18 日(祝・月)秋の休日親睦ゴルフコンペはスタート 9 時 20 分ですので、集合時間は 8 時 50 分までをお願いします。現在参加者は 17 人です。組み合わせは本日中に送ります。

**【太田秀夫会員】**

9 月 9 日(土)から 17 日(日)まで、当クラブの協賛事業でもあります、日立市美術展覧会が日立シビックセンターで開催されています。私の写真も展示されています。近年出展者が減少し存続が危ぶまれています。皆さんで観覧し盛り上げていただきたいと思います。

**【笹尾 光会員】**

ウクライナ留学生支援寄付 16,050 円をお預かりしました。ありがとうございます。

**本日のプログラム****私と RC****照沼明美さん****『自動車保険の紹介』**

AIG 損保の照沼明美です。私は保険の営業を 31 年しております。取扱い商品は損保、生保両方です。今日は自動車保険で、AIG 保険で優れていると思う補償を紹介させていただきます。

**法人向けの自動車保険****1. 「人身傷害保険」**

従来の法人向け自動車保険では補償出来なかった、自動車専用道路(高速道路上)でご契約のお車を一時的に離れている場合の自動車事故を補償します。

例) 高速道路上でパンクが発生し、確認のために車外に出た。

高速道路で、あおり運転トラブルに巻き込まれ、やむなく車外に出た際の自動車事故も補償します。

**2. 「対人賠償使用人災害特約」**

対人賠償責任保険で補償されない「業務中の従業員」を補償します。業務中の従業員が被害者となる対人事故の場合、対人賠償責任保険はお支払いできません。「対人賠償使用人災害特約」は、対人賠償責任保険の保険金をお支払いする事故の範囲を拡大し、業務中の従業員を死傷させ、それによって被保険者が法律上の損害賠償責任を負担した場合に保険金をお支払いします。

**個人向け自動車保険**

自転車事故も安心です。人身傷害と日常生活賠償責任特約で補償します。

- ・自転車で自分がケガをする
- ・他人にケガをさせる
- ・他人の財物を壊す

**「障害者割引」**

ご家族で、身体的障害、知的障害、精神障害の交付を受けている方がいらっしゃれば、障害がある方が乗車する車だけでなく、ご家族のお車も障害者割引 10%割引出来ます。

**「早期契約割引」**

AIG で初めて自動車保険にご加入いただく場合、保険開始日より 1 か月早くご契約いただくことで、早期契約割引が適用出来ます。

是非一度ご自分の保険内容をご確認してみてください。私でお役に立てることがあれば嬉しいです。ご相談下さい。ありがとうございました。

会員卓話

山口彰二さん

『 青少年交換プログラム 』



1. 青少年交換プログラムの趣旨と概要

ロータリーの青少年交換プログラムは、国際ロータリー (RI) の正式プログラム。1972 年の RI 規定審議会において決議され、全てはロータリー章典に準拠したルールが適用されている。

- ・海外で生活することは、国際理解と平和を推進できる
- ・青少年交換を通じて、学生は新しい言語を学び、異なる文化と慣習を知り、生涯に渡る友情を育むことができる

2. 青少年交換のはじまり

- ・青少年交換プログラムは 1929 年、米国とデンマーク・コペンハーゲンのロータリアンの子供たちの交換が始まり、第二次世界大戦で一度途絶えたが、1946 年に再開、1950 年代に、ロータリー青少年交換の原型へと発展
- ・1972 年、国際ロータリーの理事会は、世界中のクラブに青少年交換を推奨することに同意
- ・現在は毎年 120 か国以上、15~19 歳の学生 9,000 名以上の交換が行われている
- ・日本においても毎年 50 か国以上、約 200 名の学生が海外に滞在

3. ロータリー青少年交換プログラムの目的

- ・国際理解と親善の心を育む
- ・青少年に自信を与えることで、変化を生み出す
- ・プログラムに参加する受け入れクラブ、ホストファミリー、地域社会、学生の中に生涯にわたる関係を築く

4. 主な用語

- ・インバウンド : Inbound 青少年交換来日交換学生 来日学生 (IBS) (Willa Seo)
- ・アウトバウンド: Outbound 青少年交換派遣交換学生 派遣学生 (OBS) (渡邊友仁)
- ・ローテックス : ROTEX 元青少年交換派遣学生 自らの留学経験を活かし、IBS、OBS の留学生生活をサポートする
- ・ホストクラブ : 来日学生を受け入れて世話をしてくれるクラブ (今回 日立港 RC)
- ・スポンサークラブ : 派遣学生を推薦してくれるロータリークラブ (Wallingford)

・カウンセラー

ロータリーにおいて学生の主な連絡役を担当し、年度を通じて定期的に学生と直接連絡を取ることで、学生が留学国と地域社会に溶け込めるように支援する。

・ライジェム : RIJYEM

Rotary International Japan Youth Exchange Multidistrict 一般社団法人 国際ロータリー日本青少年 交換多地区合同機構

日本における青少年交換をまとめる組織

・イエス (ワイ・イー・エス・エス) : YESS Youth Exchange Support System 交換学生とロータリアンの手助けをすることを目的としたサポートシステム。現在多くの手続きはこの YESS を用いて行われる。RIJYEM が運用

5. 制度の概要

ロータリークラブは、100 カ国以上で、15~19 歳の学生を対象にした交換留学を実施。

(1) ロータリー青少年交換でできること

- ・青少年交換でいろいろな可能性が広がる
- ・自分で考え、率先して行動する力を育てる
- ・外国語や異文化を学ぶ
- ・海外の若者と交流し、友だちをつくる
- ・グローバルな市民になる

(2) 派遣期間

- ・長期交換は 1 年間  
学生は複数のホストファミリー宅に滞在しながら、現地の学校に通う
- ・短期交換 ~3 か月  
学校の長期休み中に青少年向け合宿、ツアー、ホームステイ等で実施

(3) 参加費用

宿泊と食事代、学費はロータリーが負担する。通常、以下の費用を学生が負担 (地区やクラブによって異なる)

- ・往復航空券
- ・旅行保険
- ・旅券とビザにかかる費用
- ・小遣い/追加の旅行やツアーに参加する場合の費用

6. 2019-20 調査資料抜粋

2019-20 年には 13,062 人のボランティアがホストファミリーとなった。

4,997 人 (38%) がロータリー会員、8,065 人

(62%) が非会員

ロータリー青少年交換では、交換に参加した子供のいる家族が同年度にホストファミリーとなることが多い。

このような「相互交換」は義務ではないが、多くの交換で行われている。

全交換のうち 4,658 件 (57%) が相互交換

**7. ホストファミリーに期待すること**

- ・学生への身の安全と安全確保に力を入れること
- ・学生を受け入れる動機が、国際親善と異文化交流というロータリーの理想と一致していること
- ・学生に対する十分な宿泊設備（部屋と食事）を提供できる経済力があること
- ・学生の福利を保障するため、適切な監督と親代わりとしての責務を果たす能力があること

**ホストファミリー内訳**



2019-20 年には 13,062 人のボランティアがホストファミリーとなった。

- ・このうち、4,997 人 (38%) がロータリー会員、8,065 人 (62%) が非会員
- ・ロータリー青少年交換では、交換に参加した子供のいる家族が同年度にホストファミリーとなることが多い
- 全交換のうち 4,658 件 (57%) が相互交換

**8. 2019 年アンケート (約 7000 人、内 2100 人強が現、元ホストファミリー)**

- ・ホストファミリーの 89% が、以前に受け入れた学生の少なくとも一人と今も連絡を継続
- ・ホストファミリーとなった理由
- ・自分自身または自分の子どもがほかの文化に触れる
- ・人のために奉仕する
- ・世界についての理解を深める
- ・ホストファミリーが求めていること
- ・ローカルに行動し、グローバルに考える
- ・世界中に知り合いを増やす
- ・ホストファミリーの 75% が、家族、友人他に青少年交換プログラムへの参加をすすめている

**9. 2019-20 年度の実績 (8,183 の交換を実施)**

長期交換 5,977 73%

短期交換 2,206 27%

親族にロータリー会員がいる交換学生数 1,348 の青少年交換学生 (全体の 16%) が親族に会員がいた。

親族ではなかった交換学生数は、6,834 (84%) (過去数年間の同じ傾向)

2019-20 年度に 5,371 のロータリークラブが青少年交換に参加

**長期交換の傾向**

2019-20 年度の長期交換数 (前年度との比較)

- ・長期交換が増えた主な理由
    - ・ロータリークラブによる積極的な参加
    - ・青少年の関心の増加
    - ・相手地区との強い関係
  - ・長期交換が減った主な理由
    - ・クラブが関心をもっていない
    - ・青少年が関心をもっていない
    - ・ホストファミリーとなることへの関心が低い
- 青少年交換の成長にとって、地域社会、特に学生とロータリークラブからの関心と参加が極めて重要である。

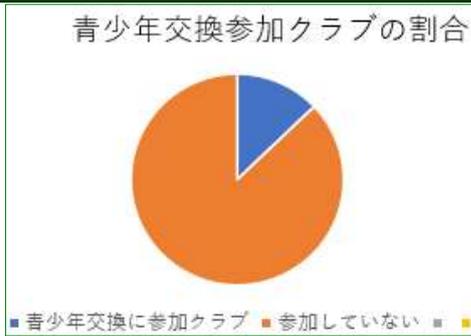


**青少年交換参加クラブの割合と親族が会員の割合 (2019-20)**



親族にロータリー会員がいる交換学生数 1,348 (全体の 16%)

親族ではなかった交換学生数 6,834 (84%)



2019-20 年度に 5,371 ロータリークラブが青少年交換に参加（全世界のロータリークラブ総数の 16%）

**2019-20 年度実績**

- 2019-20 年度に プログラムに参加したボランティアの数
  - ・ロータリー会員と非会員を含む合計 30,379 のボランティアが、プログラムをサポート
  - ・うち 13,668 人 (45%) がロータリー会員以外
  - ・高校の参加（受け入れ校 5,772 校）
  - ・長期交換学生は、交換中に現地の高校に出席することが義務
- 交換学生が現地の学生や教師と出会い、新しい文化や 言語の環境の中で学業に励む機会をもたらしている
- ロータリー青少年交換がロータリーの 参加者 基盤を広げ、世界中の地域社会の 参加を促している
- 青少年交換が、地域社会の参加とつながりを築く力を高めるものである

**10. Willa さんの RC 関連スケジュール**

- 8/28 新学期聴講生としてスタート  
担任中根先生、クラス 1 年 2 組、
- 9/9 地区主催オリエンテーション実施  
ホストファミリー 4 家族と顔合わせ（娘さん 2 名含む）
- 9 月例会 9/28 出席予定
- 10/7 地区主催歓迎会出席
- 11/4 地区大会参加（水戸市民会館）
- 12/16~12/17 RYLA セミナー出席（水戸市少年自然の家）
- 2024 3/25~3/27 研修旅行（沖縄 or 長崎）
- 2024 5/11~5/12 青少年交換全国研究会参加（山形、他地区の IBS との交流）

今週の会場の花  
”ヒペリカム”  
花言葉：悲しみは続かない  
閉会点鐘 鈴木崇久 会長



**第一分区ポリオ根絶募金活動報告**

鈴木崇久会長

当日の 9 月 9 日（土）は、明け方まで残っていた台風 13 号の雨も早朝には上がり、天候は急速に回復し午後からは残暑が厳しい中でよかつぺ祭りが開催されました。我が日立港 RC は午後 4 時から 6 時までの担当で多賀駅前通りに設置された第 1 分区ブースのテント前でポリオの募金活動と広報活動を行いました。残念ながら、前日の台風 13 号の大雨の被害により常磐自動車道と JR 常磐線が県北地区で不通となった為に会場にたどり着けない会員もおりましたが、鋤柄、山口（憲）古川、松橋、鈴木(崇)の 5 名で日立中央 RC や日立南 RC の会員の皆様と一緒に募金活動と広報活動を行い、午後 5 時には配布用のティッシュの在庫が無くなり活動は終了になりました。よかつぺ祭りも 4 年ぶりの開催とあって大変な人出があり広報活動も予想以上にスムーズに行えました。



日立市美術展覧会表彰式報告

鈴木崇久会長

9月17日(日)午後2時から日立シビックセンター7階会議室において、第59回日立市美術展覧会表彰式に出席した。会場には70名の受賞者が出席し優秀作品の表彰が行われた。日立港ロータリークラブ会長賞として3点の作品が表彰され、代表して1名に表彰状をお渡しした。



市長賞・日立港ロータリークラブ会長賞作品



太田会員作品「暗室の絵画」

滝田OB作品「夢の跡」



写真撮影 山口憲生会員

その他のお知らせ・連絡事項

★★ 行事の申込受付案内 ★★

◆ 新会員研修会・情報集会

9月28日(木) 場所 たま  
研修会 17:00・情報集会 18:00

◆ 地域ボランティア・優良従業員表彰

10月26日(木) 美かの 12:15~

◆ 地区大会 水戸市民会館ほか

11月4日(土)/5日(日)は全員参加対象  
ご出欠の申込みは、例会場受付または  
電話・メールにて事務局まで!!!

今後のスケジュールのご案内

- 9月28日(木) 12:30 美かの  
「平田伸一さん卓話代理 藤森結花様」  
「私とRC 五末美奈さん」
- 10月5日(木) 12:30 美かの  
「外部卓話 鈴木茂美様(日立RC)」
- 10月12日(木) 12:30 美かの  
「外部卓話 米山奨学生 銭 暁艶さん」  
「私とRC 白戸孝典さん」

サロン美かの

日立市郷土博物館で9月23日から「日立鉾山に生きた人々」という写真展が開かれる。これは1981年(昭和56年)の日立鉾山の閉山の記録で、当時まだ大学生だった写真家の中井川俊洋さんが卒業制作で撮影したもの。

実は今年7月茨城キリスト教学園の記念館で同テーマの小規模な展示が行われ、鉾山関係者や地域の方々に数多く来館していただいた。驚くべきは、一般人の立ち入りなど許されない鉾山の内部に学生であった中井川さんが奥深く分け入り、そこで働く人々の表情を見事にとらえていること。これは鉾山の組合の方々に支援されて実現したという。

さらに、当時フィルムで撮ったネガを今回の展示のためにデジタル処理したところ、フィルムプリントの時には全くの背景の闇であったところから、なんと人物や景色が浮かび上がり見えるようになってきた。これにはご本人も驚いたという。

日立を、そして茨城を今日まで築き上げてきたのは日立鉾山と日立製作所に他ならない。その鉾山に生きた人々の魂を伝える展覧会。ぜひ足を運んで、見えないものが見えてきた瞬間の驚きを体感していただきたい。私も、見えないものを大切にしていけたら良いと思う。(ささ)

発行：日立港ロータリークラブ(翌例会日)

編集：会報・雑誌委員会

山口憲生 鋤柄純忠 桑名智行

笹尾 光 中野紀子(事務局)

URL: <http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail: [info@hitachi-ko-rc.com](mailto:info@hitachi-ko-rc.com)